

災害科学国際研究所

第5回 東北大学災害科学研究拠点セミナー 第18回「災害と健康」学際研究推進セミナー

- 日時 2018年12月4日(火) 18:00～19:30
- 会場 星陵キャンパス 医学部6号館1F カンファレンス1
- 講師 門廻 充侍 東北大学災害科学国際研究所
災害リスク研究部門
津波工学研究分野 助教



演題『東日本大震災を踏まえた津波死体系化の試みと 今後の研究計画について』

2011年3月11日に発生した東日本大震災によって我が国は甚大な被害を受けました。警察庁の公表した東北3県における犠牲者の死因において、津波に関係する溺死は90%でした。一方で、日本法医学会や厚生労働省の報告によると、溺死以外にも、頭部損傷や低体温症も死因として記載されていました。これは、津波災害における多様な死因の可能性を示唆しています。そこで、報告書および法医学書を基に津波死を調査し、津波死の体系化を試みました。

本セミナーでは、現状の体系図の紹介に加え、登壇者の研究グループが今後行う研究計画の概要を報告致します。災害科学に携わる様々な立場の方にご参加いただき、多様な意見交換の場となる事を期待しております。ぜひ奮ってご参加下さい。

○主催 災害科学世界トップレベル研究拠点
「災害と健康」プロジェクトユニット

※本セミナーは医学系研究科系統講義コース科目等指定科目に振り替えることができる特別セミナーを兼ねています

【お問い合わせ先】

東北大学災害科学国際研究所
災害と健康プロジェクトユニット
TEL: 022-728-2372
メールアドレス: dhu_jimu@irides-dpsy.med.tohoku.ac.jp



TOHOKU
UNIVERSITY



指定国立大
災害科学 世界トップレベル研究拠点

